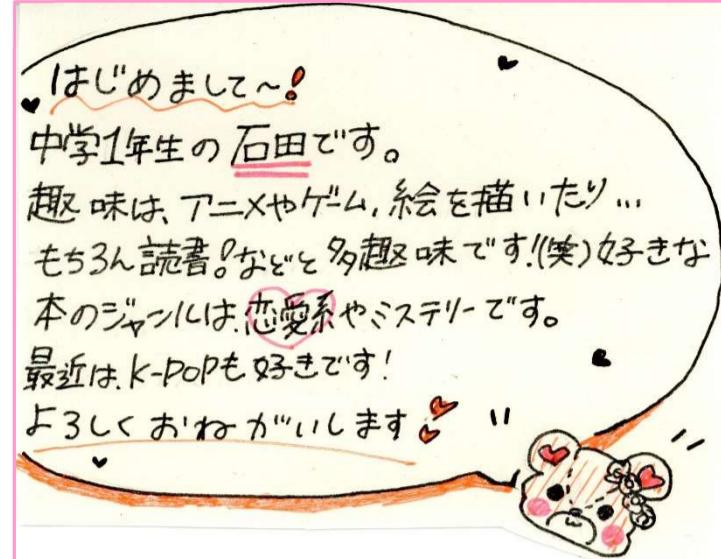


対談でも
話題に
なっていました



中学3年の田畠です。
趣味は読書で
部活は図書部に所属して
います。

好きなジャンルは
ファンタジー、最近は部活もの
とかです。



オススメ

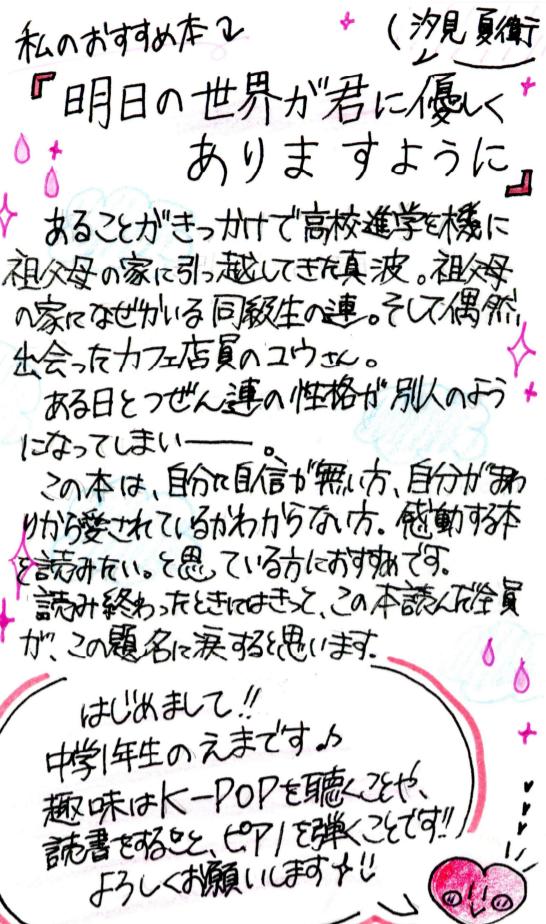
『神様のいる書店』
へまほうばの夏へ

自分の居場所を求める高2の
ヨミは秘密の書店まほうば屋
書店と出会い…というような
話です。
控えめな主人公の頑張る姿
に勇気が出たり、ファンタジックな
描写が多い素敵なお本です。

(著:三萩せんや)

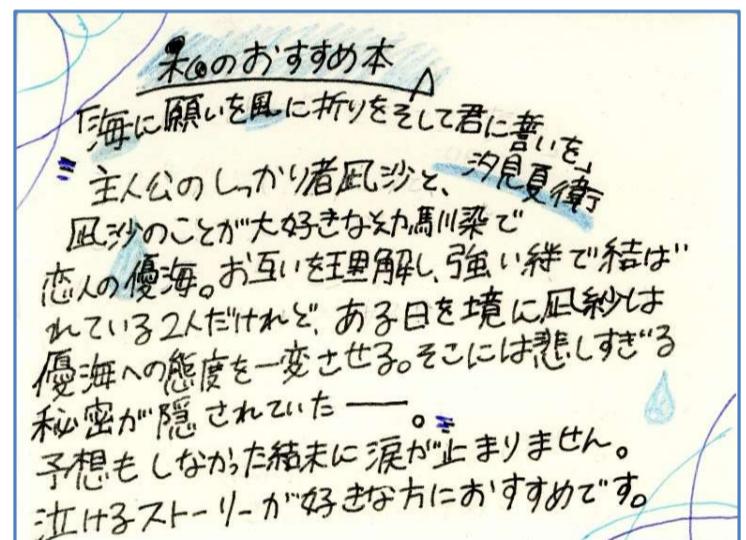
ZANMAI
にも
のった本

どちらも、対談
で話題だった方
の著書ですね！



おすすめ本

福生第三中学校
図書部の
みなさんの

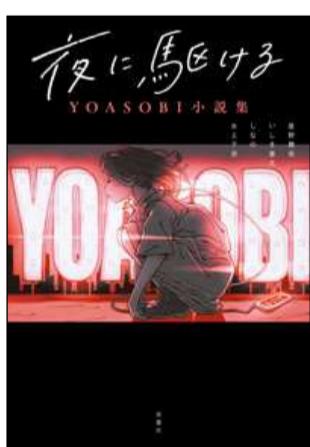


2021年9月に発行いたしました「いろは新聞43号」におきまして原稿の紛失があり、掲載できなかった記事がありました。ご迷惑をおかけしたえまさん、そして福生第三中学校図書部のみなさんは、大変申し訳ありませんでした。再度原稿をください、ありがとうございます。「いろは新聞43号 訂正版」として、改めて掲載させていただきます。

今回私がお勧めするのは、「夜に駆けるYOASOBI小説集」。社会現象を引き起こしたYOASOBIの「夜に駆ける」。誰しも一度は聞いたことがある曲だと思う（名前のみも含めて）。知っている人もいるだろうが、実はこの曲、小説を元にして作られた曲である。YOASOBIは、「小説を音楽にするユニット」として活動しているのだ。ということはもちろん、YOASOBIの他の楽曲にも原作が存在する。そういうふた原作達を加筆修正してまとめたのが、「夜に駆けるYOASOBI小説集」だ。「夜に駆ける」の原作・「タナトスの誘惑/夜に駆ける」、「あの夢をなぞつて」の原作・「夢の雲と星の花」、「たぶん」の原作・「たぶん」、未発表曲（「アンコール」）の原作・「世界の終わり」と、さよならのうた」、それに加え

星野舞夜・いしき蒼太・しなの・水上下波／著
双葉社（二〇二〇年）

『夜に駆けるYOASOBI小説集』



その2



いろはスタッフ

編集後記

このご時世、まだまだ制限が多く課せられていて、まだまだおうち時間が多くあると思うので、この本を読んでみてはいかがだろうか。内容はあまり多くないので、読書が苦手な方でも、さつくり読めると思う。ぜひ読んでみてほしい。

- 口コナ感染者が多くなり、学校でもまた遠隔授業になってしましました。夏休みになってしまいとても悲しいです。ですが、家で寝転がって本を読んだら眠くなったら寝るという生活も楽しんでいます！でもやっぱり遊びたいし、いろは新聞をみんなで集まって話しながら制作したい！！来年こそは！
- 高校の頃は全然いろは新聞に参加出来なかつたので、また参加出来る機会があつて嬉しかったです！
- 暑くて大変ですが、サイコウ！な夏にレッツ読書!!
- 久しぶりの参加でした！楽しかったです！私は受験勉強でもう本をたくさん読むということは出来ませんが！この編集後記を読んだその貴方はたくさん本を読んでほしいです！



YOASOBIのインタビュー・「小説が音楽になるまで」が収録されている。YOASOBIのファンにとっては必見の一冊だ。もちろん、YOASOBIをあまり知らない人もぜひ読んでほしい。先程も述べたが、本の内容を元にした曲が存在するので、曲を聞く前と聞いた後の2回楽しめる。他の本には無い要素なので、一風変わった体験が出来ると思う。

YOASOBIのファンにとっては必見の一冊だ。もちろん、YOASOBIをあまり知らない人もぜひ読んでほしい。先程も述べたが、本の内容を元にした曲が存在するので、曲を聞く前と聞いた後の2回楽しめる。他の本には無い要素なので、一風変わった体験が出来ると思う。